

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長

(氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 625 | △22.1 | △44 | — | △44 | — | △55 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 803 | 13.4 | △117 | — | △112 | — | △155 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | △90.12 | — |
| 23年3月期第3四半期 | △252.66 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 2,173 | 1,994 | 91.8 |
| 23年3月期 | 2,261 | 2,048 | 90.6 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,994百万円 23年3月期 2,048百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----|-------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 910 | △14.1 | 10 | — | 25 | — | 20 | — | 32.44 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-----------|----------|-----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 616,400 株 | 23年3月期 | 616,400 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 14 株 | 23年3月期 | 14 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 616,386 株 | 23年3月期3Q | 616,386 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 4. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあります。先行きについては、各種の政策効果などを背景に、景気の緩やかな持ち直し傾向が期待されますが、一方で欧州の政府債務危機による海外経済の減速や円高等により、我が国の経済状況は下押しされるリスクが継続して存在しております。また、電力供給の制約や原子力災害の影響、さらには、デフレの影響、雇用情勢の悪化懸念が依然残ったままであり、継続した注意が必要となっております。

一方、我々が業を営む業界についても、製薬メーカー大手各社を中心に、グローバル製品の特許期間の満了に伴う収益の悪化が顕在化し、問題解決策として、新たにジェネリック医薬品事業への本格的進出や、バイオシミラー・バイオベターと呼ばれるバイオ医薬品の開発への参画など、収益確保を目指した経営戦略再構築への継続した活動が活発であります。

このような環境下、当社は経済状況および業界の環境が今後も厳しいと予想し、継続して経費削減に努め、事業環境の変化に対応すべく効率の良い業務体制を強化してまいりました。前事業年度の組織再編による人員の合理化等の施策は、継続してコストの大幅削減に功を奏しております。また、本年度上期より注力してまいりました抗体やキットの共同開発及び自社開発の製品化が次々と進み、これらの販売割合が増加したことにより、収益の増加を達成することができました。

その結果、当第3四半期累計期間においても、安定した財政状態を継続しており、損益面につきましても概ね計画通りに推移しております。

当第3四半期累計期間の売上高は、625,750千円（前年同期比22.1%減）、営業損失は、44,467千円（前年同期は117,482千円の営業損失）、経常損失は、44,395千円（前年同期は112,206千円の経常損失）、四半期純損失は、55,550千円（前年同期は155,741千円の四半期純損失）となりました。

このような状況が続く中、当社は継続して、研究用試薬関連での自社独自の抗体製品および測定キット製品群の開発を進め、販売面では他社との業務提携を積極的に継続し、自社ブランドの抗体製品やキット製品の国内外での販売ネットワークの拡大を進めてまいります。また医薬用関連事業では、新しい診断用医薬品の開発および医薬品シーズのライセンスの導出を進めてまいります。さらに、トランスジェニックカイコの繭を用いた有用タンパク質生産技術の実用化に向け、新たな事業化への展開を計画し、開発型企業としての価値を高めてまいります。

セグメント別の売上高は以下の通りとなりました。

・研究用関連事業

研究用試薬関連は、自社独自の抗体製品および測定キット製品群の新製品開発による収益増加も加わり、前年実績を上回ることができました。一方、実験動物関連において、昨年度まで販売しておりました米国Taconic Farm, Inc.の疾患モデル動物販売の収益減により、研究用関連事業合計での売上高は477,971千円（前年同期比29.0%減）となりました。

・医薬用関連事業

体外診断用医薬品販売における自社製品の売上が順調に推移した結果、売上高147,778千円（同13.3%増）となりました。

（参考）セグメント別売上高

単位：千円

| セグメント | 前第3四半期累計期間 | 当第3四半期累計期間 | 増減 |
|------------|------------|------------|--------|
| 研究用関連事業 | 673,125 | 477,971 | △29.0% |
| 研究用試薬関連 | 434,332 | 462,002 | 6.4% |
| 実験動物関連 | 238,792 | 15,969 | △93.3% |
| 医薬用関連事業 | 130,386 | 147,778 | 13.3% |
| 医薬シーズライセンス | — | 2,699 | — |
| 体外診断用医薬品販売 | 130,386 | 145,078 | 11.3% |
| 合計 | 803,512 | 625,750 | △22.1% |

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の変動について)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比3.9%減の2,173,467千円となりました。これは主に、前期末にかけて残高が増加した受取手形及び売掛金の回収が当期に進んだことによる受取手形及び売掛金の減少15,667千円、債券が償還されたことによる有価証券の減少25,000千円及び新規有形固定資産の取得はあったものの、減価償却、減損損失計上等により有形固定資産及び無形固定資産が57,630千円減少したこと等によるものであります。

(負債の変動について)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比15.6%減の179,235千円となりました。これは主に、借入金の返済により長期借入金が23,550千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の変動について)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比2.7%減の1,994,232千円となりました。これは主に第3四半期純損失の計上によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、平成20年3月期、平成21年3月期、平成22年3月期及び平成23年3月期において継続して営業損失を計上しておりますが、平成22年10月22日公表の「中期経営計画」の施策を着実に実行し、平成23年3月期下期の営業利益黒字化及び通期の営業キャッシュ・フロー黒字化を達成することが出来ました。さらに、今後は平成24年3月期の営業利益の黒字化を図るため、平成23年4月18日公表の「中期経営計画」の重点施策を着実に実行してまいります。

(今後の主な重点施策)

- ① 自社開発製品販売において、国内外の販売強化を目的とする他社との業務提携を積極的に行い、国内外における市場での評価が高い当社製品の販売網を整理・拡大し、自社ブランドの抗体製品やキット製品の販売増に注力してまいります。
- ② 研究開発及び商品開発において、当社の強みであるアルツハイマー病、がん及び炎症はもとより、糖及び脂質代謝関連疾患の領域に有用な技術や知見を有する、他のバイオベンチャー企業と積極的に提携し、診断や治療への応用を視野に入れた新製品開発を集中的に推進してまいります。
- ③ 遺伝子組換えカイコによる抗体生産技術を早期に確立し、自社抗体製品の生産効率を飛躍的に改善していく所存であります。また、研究用試薬、診断薬原料などへの販売に向けた実用化、さらに将来に向けてカイコによる医薬品への挑戦を推進してまいります。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 349,785 | 359,643 |
| 受取手形及び売掛金 | 234,988 | 219,321 |
| 有価証券 | 25,000 | — |
| 商品及び製品 | 47,042 | 60,088 |
| 仕掛品 | 116,273 | 124,943 |
| 原材料及び貯蔵品 | 61,777 | 63,374 |
| その他 | 26,326 | 7,912 |
| 貸倒引当金 | △56 | — |
| 流動資産合計 | 861,137 | 835,284 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 613,804 | 573,586 |
| 土地 | 362,687 | 362,687 |
| その他(純額) | 98,320 | 95,924 |
| 有形固定資産合計 | 1,074,812 | 1,032,198 |
| 無形固定資産 | 80,922 | 65,905 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 185,676 | 186,710 |
| その他 | 58,593 | 53,369 |
| 投資その他の資産合計 | 244,269 | 240,079 |
| 固定資産合計 | 1,400,004 | 1,338,183 |
| 資産合計 | 2,261,142 | 2,173,467 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,123 | 15,562 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 31,400 | 31,400 |
| 未払法人税等 | 7,539 | 2,728 |
| 賞与引当金 | 3,773 | 960 |
| その他 | 64,834 | 65,458 |
| 流動負債合計 | 124,670 | 116,109 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 86,000 | 62,450 |
| 退職給付引当金 | 184 | 221 |
| その他 | 1,538 | 454 |
| 固定負債合計 | 87,723 | 63,126 |
| 負債合計 | 212,393 | 179,235 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,571,810 | 1,571,810 |
| 資本剰余金 | 1,416,578 | 491,753 |
| 利益剰余金 | △924,824 | △55,550 |
| 自己株式 | △16 | △16 |
| 株主資本合計 | 2,063,547 | 2,007,997 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △14,799 | △13,765 |
| 評価・換算差額等合計 | △14,799 | △13,765 |
| 純資産合計 | 2,048,748 | 1,994,232 |
| 負債純資産合計 | 2,261,142 | 2,173,467 |

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 803,512 | 625,750 |
| 売上原価 | 397,499 | 243,509 |
| 売上総利益 | 406,012 | 382,241 |
| 販売費及び一般管理費 | 523,494 | 426,708 |
| 営業損失(△) | △117,482 | △44,467 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 404 | 283 |
| 保険解約返戻金 | 1,920 | 2,424 |
| 助成金収入 | 6,349 | 813 |
| その他 | 827 | 732 |
| 営業外収益合計 | 9,501 | 4,253 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,277 | 1,282 |
| 為替差損 | 2,653 | 2,451 |
| その他 | 294 | 447 |
| 営業外費用合計 | 4,225 | 4,181 |
| 経常損失(△) | △112,206 | △44,395 |
| 特別利益 | | |
| 抱合せ株式消滅差益 | 5,198 | — |
| その他 | 828 | — |
| 特別利益合計 | 6,027 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 22,504 | — |
| 特別退職金 | 8,581 | — |
| 減損損失 | 7,886 | 9,151 |
| その他 | 7,521 | — |
| 特別損失合計 | 46,493 | 9,151 |
| 税引前四半期純損失(△) | △152,672 | △53,547 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,069 | 2,002 |
| 法人税等合計 | 3,069 | 2,002 |
| 四半期純損失(△) | △155,741 | △55,550 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。